

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 26 日 (2020.3.26)

【公表番号】特表 2019-510632 (P2019-510632A)

【公表日】平成 31 年 4 月 18 日 (2019.4.18)

【年通号数】公開・登録公報 2019-015

【出願番号】特願 2018-565245 (P2018-565245)

【国際特許分類】

B 0 1 D 46/52 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 46/52 A

B 0 1 D 46/52 C

B 0 1 D 46/52 B

B 0 1 D 46/52 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 13 日 (2020.2.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フィルタ要素であって、

(a) 内部容積を画定するプリーツ付フィルタメディアの構造と、

(b) 前記フィルタメディアの対向端部に固定された第 1 および第 2 対向端部キャップと

、

(c) 前記内部容積において作動可能に方向付けられた前記フィルタメディアを支持する支持構造と

を含み、

(i) 前記支持構造が前記第 1 端部キャップと前記第 2 端部キャップとの間の全延長未満だけ延在する、フィルタ要素。

【請求項 2】

(a) 前記支持構造がプリーツ付構造を含む、請求項 1 に記載のフィルタ要素。

【請求項 3】

(a) 前記プリーツ付構造が、前記プリーツ付フィルタメディアのプリーツの方向に略平行に延在するプリーツを有する、請求項 2 に記載のフィルタ要素。

【請求項 4】

(a) 前記プリーツ付構造が半剛性のプリーツ付スクリーンを含む、請求項 2 または 3 に記載のフィルタ要素。

【請求項 5】

(a) 前記プリーツ付構造がその対向側部に穿孔された表面仕上げを含む、請求項 2 ～ 4 のいずれか一項に記載のフィルタ要素。

【請求項 6】

前記支持構造が非金属である、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載のフィルタ要素。

【請求項 7】

(a) 前記支持構造が、複数の交差ブレースと一緒に接続された間隔をあけて配された複数の多孔質円柱を含む押出成形された構造である、請求項 2 に記載のフィルタ要素。

【請求項 8】

ダストコレクタであって、

(a) ハウジングであって、汚れた空気入口と、汚れた空気プレナムと、清浄空気出口と、清浄空気プレナムと、前記汚れた空気プレナムを前記清浄空気プレナムから分離する管板とを有するハウジングと、

(b) 前記管板において着脱可能に据え付けられた請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載の複数のフィルタ要素とを含むダストコレクタ。

【請求項 9】

(a) 前記フィルタ要素を洗浄するために、前記フィルタ要素の下流側から上流側へ、前記フィルタ要素内へガスのパルスを放出するために据え付けられた洗浄システムをさらに含む、請求項 8 に記載のダストコレクタ。

【請求項 10】

濾過の方法であって、

(a) 請求項 8 または 9 に記載のダストコレクタを提供することと、

(b) 流体を、前記 プリーツ付フィルタメディアを通して 前記 内部容積内へ流れるように導くことと、

(c) 前記流体が前記 プリーツ付フィルタメディアを通して流れている一方で、前記支持構造を使用することにより前記フィルタメディアが共に崩壊することを防ぐために、前記フィルタメディアを支持することと、

(d) ガスのパルスを 前記 フィルタ要素の 前記 内部容積内へ定期的に放出することと、前記 プリーツ付フィルタメディアが拡張することを可能にするるとともに前記フィルタ要素が軸方向に収縮することを可能にすることとを含む方法。